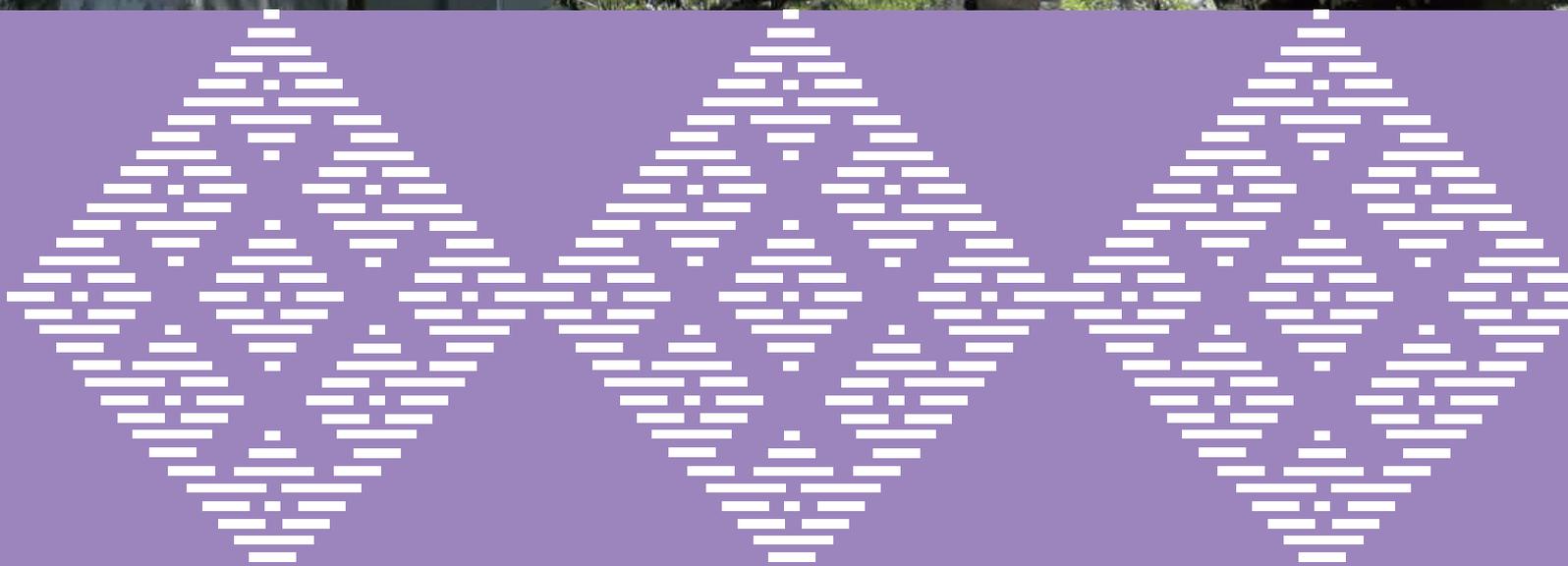


# 求人のための 弘前大学案内

2026（令和8）年3月卒業・修了予定者対象



企業、団体等の人事担当の方々には、日頃から弘前大学生が大変お世話になっておりますことに、改めてお礼を申し上げます。特に、インターンシップの受け入れ、充実に多大なご支援をいただいておりますことに、心から感謝いたしております。大変ありがとうございます。

令和4年5月発刊の『日経キャリアマガジン特別編集 価値ある大学 2022-2023 就職力ランキング』（日経HP）において、「地域の活性化に貢献している大学部門」で全国1位、「就職支援に熱心に取り組んでいる大学部門」で全国2位に本学がランクされました。本学卒業生の活躍によって、本学のキャリア教育の取組が企業等から高く評価されたものであり、大変嬉しく思っています。もちろん、企業等の皆さんが求める「社会人基礎力（前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力）」は、学内の「学び」だけで獲得できるものではなく、地域社会との交流を通して育まれるものです。多様な「学び」の環境を提供してくださっている地域の方々に対して、改めて感謝の意を表したいと思います。

令和5年度の弘前大学の卒業生は入学時からコロナ禍の影響下にありましたが、歴代第3位の高い就職率（98.8%）を達成することができました。残念ながら卒業生の県内就職率は26.3%と低迷しており、青森県出身者の県内定着率も61.3%とほぼ横ばいの状況です。

弘前大学はCOC（Center of Community）事業とそれに続くCOC+事業、その後に設立した「青森創生人財育成・定着推進協議会」を中心に、自治体や県内の高等教育機関、各種企業等の皆様方とともに地域活性化施策および若者の県内定着に向けた取り組みを行ってきました。令和6年度からは青森県が設立する「あおり人財育成・県内定着促進協議会」に参加し、産学官が一体となって地域経済の未来を担う人材の育成と若者の県内就職・定着の改善を目指してまいります。

地域の自治体や各種企業等の皆様のご協力のもと、弘前大学生の希望や夢を叶えつつ、地域活性化を実現したいと考えています。今後とも、弘前大学と弘前大学生をよろしくお願い申し上げます。



弘前大学長  
福田 眞作

# 弘前大学のキャリア教育

弘前大学は、キャリア教育を「社会全体の中での人生の在り方を見つけ、実現するための『生き方教育』」と位置付け、平成28年度から教養教育におけるキャリア教育科目を必修化しました。1年次から高年次にかけて、学生の就業力育成に努めています。

教養教育科目			正課外
1年次	2年次	3年次	1年次～
キャリア形成の基礎 (必修科目)	キャリア形成の発展 (選択科目) インターンシップ (選択科目)	キャリア形成の実践 (必修科目)	• 各種ガイダンス • 企業見学会 • 業界研究会



# 人文社会科学部

## 時代の変化に対応できる専門知識・技能と課題解決能力の習得を目指して

人文社会科学部は、北東北地域における人文社会科学分野の主要な高等教育研究拠点のひとつです。少子高齢化の急速な進行、世界規模でのグローバル化の進展等によって、日本社会が大きな変化を迫られている状況の中で、確かな価値観と行動原理に裏づけられた、人文社会科学分野の専門知識・技能と現実の課題解決能力をそなえた人材育成を目指します。



- 文化創生課程  
文化資源学コース／多文化共生コース
- 社会経営課程  
経済法律コース／企業戦略コース／地域行動コース

## 大学院 人文社会科学研究科

### 【修士課程】 グローバル化と共生の時代に人文社会科学の深奥を究める

人文社会科学研究科は、人文社会科学専攻のもとに、文化芸術コース・現代共生コース・政策科学コースという3つのコースを設置しています。各コースでは、それぞれの学問分野に関係した高度で特色ある教育・研究を通して、グローバル化と共生の時代に相応しい資質・能力を身につけた人文社会科学系の高度専門職業人として、我が国の文化の振興や経済・産業の活性化の面から人間社会の発展に寄与する人材の養成を目的としています。

- 人文社会科学専攻  
文化芸術コース／現代共生コース／政策科学コース

# 教育学部

## 教員・教育者育成への新たな挑戦

教育学部は、学校教育教員養成課程、養護教諭養成課程から構成されており、優秀な教育者並びに職業人の養成を目標に、人文・社会・自然等の諸科学、芸術、体育並びに教育科学に関する教育研究が行われています。そして、その実証的研究や学生の実習を行うため、本学部には教育実践総合センター、教員養成学研究開発センター、次世代ウェルビーイング研究センター、幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校が附属して設置されています。



- 学校教育教員養成課程  
初等中等教育専攻／特別支援教育専攻
- 養護教諭養成課程

## 大学院 教育学研究科

### 【専門職学位課程】 理論と実践の往還・融合

教育学研究科は、教職実践専攻をもつ専門職大学院です。教育実践力に秀でた新人教員の育成とミドルリーダーの養成を目的に、現職教員学生を対象とした「ミドルリーダー養成コース」と学部新卒学生を対象とした「学校教育実践コース」、「教科領域実践コース」、「特別支援教育実践コース」の4コースを設置しています。青森県が直面している教育課題に対して、理論と実践の往還・融合を通じて、その解決に向けた教育実践を創造しリードする教員を養成します。

- 教職実践専攻（専門職学位課程）  
ミドルリーダー養成コース／学校教育実践コース／教科領域実践コース／特別支援教育実践コース

## 医学部医学科・大学院 医学研究科

### 医学部保健学科

#### 高度な医療技術と豊かな人間性を持った医療従事者の育成

医学部保健学科は5専攻を有し、多様な保健医療専門職を養成する機関です。教育学部特別教科(看護)教員養成課程と医療技術短期大学部を前身とし、保健医療専門職教育における長い歴史と実績を有しています。校舎は本町キャンパスに位置し、約800人の学生が所属しています。弘前大学医学部保健学科の使命は、保健学における適切で高度な専門教育を提供し、健康の質を改善すると共に、国民の健康と福祉の増進に寄与することです。



●看護学専攻 ●放射線技術科学専攻 ●検査技術科学専攻 ●理学療法学専攻 ●作業療法学専攻

### 医学部心理支援科学科

#### 心理学を中心とする高度な専門知識・技能、豊かな人間性・倫理性を兼ね備えた心理支援職の養成

医学部心理支援科学科は、医学部の3番目の学科となる、公認心理師養成を想定した学士課程として、令和2年4月に開設されました。本学科では、心理学・臨床心理学だけでなく、医学・保健学など専門領域に関する知識と技能の修得と科学的思考力、こころの問題に対する感受性、悩める人に寄り添う姿勢、生命に対する高い倫理性の涵養を図ります。そして、心理支援職としての役割を通して、地域住民の健康と福祉に寄与し、社会に貢献する人材を育成します。

# 大学院 保健学研究科

## 【博士前期課程】 問題分析・解析能力を備えた高度医療専門職者の育成

保健学研究科博士前期課程では、学部教育をさらに発展させ、保健学の領域における教育と研究を通して知的財産を創造・蓄積すると共に、実践の場でリーダーシップを発揮し、指導的役割を果たすことのできる“メディカルスタッフ”の育成を目標としています。また、緊急被ばく医療に関する高度専門職やリーダーを養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コース及び放射線被ばくに関連した複雑な健康問題を持つ個人、家族及び集団に対して高度看護実践を行うことのできる人材を育成する放射線看護高度看護実践コースも設定しています。

●保健学専攻 看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

## 【博士後期課程】 独創性・創造性豊かな教育研究者の育成

保健学研究科博士後期課程では、学部及び博士前期課程における教育・研究を通して得られた保健学に関する知識・技術・研究基礎能力を更に高め、人々の健康を保持増進し、生活の質（QOL）向上に向けた独創的・学際的な研究を自立的に進め、幅広い学識と高度な専門性、倫理性を身に付けた教育・研究者を育成することを目的とします。また、緊急被ばく医療における高度な教育者及び研究者を養成するとともに本分野の学問の発展に貢献できる教育者・研究者を育成する被ばく医療コースも設定しています。

●保健学専攻 看護学領域／放射線技術科学領域／生体検査科学領域／総合リハビリテーション科学領域

## 【修士課程】 高度な専門的知識を有し、協調性・問題解決力を備えた心理支援職の育成

保健学研究科心理支援科学専攻修士課程では、学部教育において培われた能力を土台として、心理学及び医学・保健医療に関する高度な専門的知識及び技能を修得します。また、多領域の専門職との連携によるチームアプローチを実践できる協調性並びに地域や職域における心理学的問題をリーダーとして解決に導くための力を有し、高い倫理観と責任感を持った心理支援職を育成することを目的とします。

●心理支援科学専攻 心理支援科学領域

# 理工学部

## 科学力を養い、人間力を磨く

理工学部では、変化する現代社会に対応できる幅広い視野と科学・技術の発展に貢献できる力を養う教育カリキュラムを提供することによって、自然のしくみを探求する力、先端技術社会を支える科学を発展させ技術を創造する力、変化する現代社会が直面する課題を発見・分析・解決する力を養い、地域や国際社会に貢献する人材の育成を目指しています。



- 数物科学科
- 物質創成化学科
- 地球環境防災学科
- 電子情報工学科
- 機械科学科
- 自然エネルギー学科

## 大学院 理工学研究科

### 【博士前期課程】 理工融合を特徴とした高度専門教育

理工学研究科博士前期課程は、理工学に関わる教育を第一義とし、科学技術の高度化・多様化に順応することのできる高度専門職業人の育成を目指しています。4年間の学部教育と2年間の博士前期課程教育との連携を重視しつつ、基礎学問を探究する理学及び産業に直結する工学といった従来の既成概念にとらわれない、基礎と応用及びその境界領域を含む、学際性を重視した理工融合を特徴とする高度専門教育を行っています。

- 理工学専攻  
数物科学コース／物質創成化学コース／地球環境防災学コース／電子情報工学コース／機械科学コース／自然エネルギーコース

### 【博士後期課程】 未来を切り開く先端科学技術の創造

理工学研究科博士後期課程は、社会に役立つ物質・材料の開発とその応用技術の確立を目指す機能創成科学専攻並びに高度に発達した社会における自然災害・人的社会災害に対する危機管理技術の確立を目指す安全システム工学専攻の2専攻構成になっています。それぞれの専攻では、理学や工学の既成概念にとらわれず、科学技術の高度化・多様化に順応できる幅広い視野を持ち、学際的課題を解決し得る柔軟で総合的な判断力を有する高度専門職業人および研究者の養成に重点を置いた教育を行っています。

- 機能創成科学専攻
- 安全システム工学専攻

## 農学生命科学部

生物学，農学，経済並びに工学における実験と実習を重点的に行います

農学と生命科学分野の基礎的・専門的な知識を身につけた人材，課題探究・問題解決能力を備えた専門技術者・研究者として活躍できる人材及び豊かな人間性を身につけ，創造性と主体性を持って地域はもとより国際的にも活躍できる人材の育成を目指しています。



●生物学科 ●分子生命科学科 ●食料資源学科 ●国際園芸農学科 ●地域環境工学科

## 大学院 農学生命科学研究科

【修士課程】 農学生命科学分野において高度で専門的な教育・研究を行います

農学生命科学研究科には，生物学，分子生命科学，食料資源学，国際園芸農学および地域環境工学の5つのコースがあります。それぞれの学生は自身の将来の希望に基づき，2つの教育プログラム，すなわち学術研究プログラム（研究者養成）または実践研究プログラム（専門技術者養成）からいずれかを選択できます。広範囲な技術を理解し，熟練した地域社会の発展に貢献できる高度専門技術者，国際的視野をもつ優れた技術者並びに時代の要請を先取りし先端的研究に挑戦できる研究者の養成を目指します。

●農学生命科学専攻

生物学コース／分子生命科学コース／食料資源学コース／国際園芸農学コース／地域環境工学コース

## 大学院 地域共創科学研究科

### 【修士課程】 “地域社会の未来を切り拓くフロントランナー”を育成

地域共創科学研究科は、2020年に設立された総合的な大学院です。社会学・工学を中心とした地域リノベーション専攻と、経営学・農学を中心とした産業創成科学専攻の2専攻で構成され、弘前大学の人文社会科学部、教育学部、理工学研究科、農学生命科学部、地域社会研究科、地域戦略研究所の教員が教育・研究に参加しています。文系・理系の院生が共に新たな価値をつくりだす文理共創と、地域と大学が協働して新たな価値を生み出す域学共創を通して、地域課題解決に資する高度な専門性と俯瞰性を兼ね備えた「地域社会の未来を切り拓くフロントランナー」の育成を目指します。

- 地域リノベーション専攻  
コミュニティデザイン領域／レジリエンステクノロジー領域
- 産業創成科学専攻  
食産業イノベーション領域／グローバルビジネス領域

## 大学院 地域社会研究科

### 【博士後期課程】 高度専門職業人の養成

地域社会研究科は、地域の持つ特有の課題に具体的に対処する人材を養成し、併せて実効性のある研究成果を生み出す教育研究機関として、活力ある地域社会の実現に積極的に貢献することを目的として2002年度に設置されました。本研究科は後期3年博士課程の独立研究科で、地域産業研究講座・地域文化研究講座・地域政策研究講座の3講座があります。3年間の学習と研究及び博士論文の作成によって「博士(学術)」の学位を取得できる指導体制をとっており、地域社会のさまざまな分野で活躍中の社会人も多数在籍しています。

- 地域社会専攻

## 企業等見学会

キャリア教育の一環として、職業観の育成や就業機会を考えさせ、同時に企業への理解を深めるため、社会見学や諸先輩と話をする機会となる「企業等見学会」を実施しています。

様々な業界の職場を見学することで、将来、就職活動をスタートしていくにあたり、青森県内就職・県外就職の希望にかかわらず、広く社会を見る目を養う、キャリア形成を目指します。ご協力いただける企業様からのご連絡は随時受付しております。

### ■参加学生の声

- それぞれの企業が地域に根ざし、地域貢献をしながら発展しているのがよくわかる。県内就職を考えるにあたって地域とどれだけ密接な関係かを考えるのに良い見学、及び、先を考えるための経験になった。
- 見学を通じて、文系だからといって、食品製造業や医療福祉の企業で働くことが難しいということはないことを発見しました。そのため、今後は文系だからといって、企業の視野を狭めないようにしていきたいです。要望として、今後は、保証協会や商工会議所、中小企業同友会などの金融業界も、一社入れていただけますと幸いです。
- 自分でも気づいていなかった価値観に気づくことができました。また、調べるだけでなく、実際に足を運んでみないと分からないことがたくさんあるのだと実感しました。気軽に参加できるオンラインだけでなく、対面イベントにも積極的に参加していこうと思いました。
- その企業しか持ってない技術や機械があることや、青森県の知らなかった凄さを認識できて、自分にとっては就活に関係なく興味があったので有意義でした。県外企業希望の人でも、あえて参加したら「県内も悪くないな」と思える良い機会だと思うので、いろんな人にバスツアーのことも青森県のことも知ってもらえたら良いなと思いました。ノリで全部のコースに申込んだのが体力的に不安でしたが、やってみたら案外元気に毎日楽しく見学できて安心しました。たくさんのことを考えられたので頑張った良かったです。3年生でラストチャンスだったので欲張って良かったです。今回得た要素を踏まえて自分の就職条件を整えて企業をもっと探してみます。
- 実際に対面でなければ分からない、職場の雰囲気や作業内容を知れた。また、社内見学はそれこそオフラインでなければ分からないので、これらを参考にして業界研究を深めていきたい。
- 弘前大学のOB、OGが色々なところで活躍していてすごいなと思った。面白い話や授業では絶対に教えてくれない話をたくさん聞くことができ有意義だった。
- 普段入ることが出来ない場所に入ることが出来たり、正直自分が興味無い業界でも自分のやってきたことが活かせる部分があったりで参加して良かった。
- さまざまな業種での特徴の違いや、同じような業種の中での企業による特徴の違いを学べた。また、全企業に共通していたことは、育休やSDGsに関する取り組みが充実しているということであった。



# キャリアセンターについて



キャリアセンターは、弘前大学教育推進機構の下に、キャリア教育やキャリア支援を通じて学生の就業力育成を推進する機関として平成28年4月に設置され、求人票の受付や説明会の開催等を通じて、企業・団体様との連携を図っております。



## 弘前大学の就職情報はキャリアセンターのホームページから

キャリアセンターのホームページでは企業様向けのご案内を各種ご用意しております。

- 求人票
- インターンシップ
- 学内説明会
- 就職担当教職員
- 就職に関するデータ

などなど。

ぜひ、ご利用いただきますようお願いいたします。

弘大キャリアセンター

検索



<https://career.hirosaki-u.ac.jp/>

## ●「求人票」・「インターンシップ情報」送付のお願い

本学では、求人検索システム「キャリアタスUC (旧UniCareer)」による求人・インターンシップの情報公開を行っておりますので、何卒、ご協力をお願いいたします。

なお、紙媒体で送付された求人票等については、キャリアセンター施設内において紙媒体での閲覧のみとなりますので、ご了承願います。

「キャリアタスUC」は利用料不要です。

一度、企業情報や求人票、インターンシップ情報を登録することで、次年度以降の更新も簡単に行えます。また、複数大学への情報提供も一括で行うことができます。

キャリアセンターHPリンク先からも、ご登録いただけます。

**キャリアタスUC**  
[career+]



<https://uc.career-tasu.jp/>

### キャリアタスUCのご利用やサービスに関するお問い合わせ

キャリアタスUC カスタマーサポート

T E L : 0120-551-652 (フリーダイヤル) /  
03-6635-6488

(受付時間：平日9:00～17:30)

E-mail : [uc-corp@disc.co.jp](mailto:uc-corp@disc.co.jp)

## ●「個別企業説明会」等のお申し込みについて

学内での「個別企業説明会」等の申込を随時受け付けしております。

キャリアセンターのセミナー室を主な会場として開催しており、会場費等は不要です。

「個別企業説明会」／対象：卒業・修了予定者

「官公庁業務説明会」／対象：全学年又は卒業・修了予定者

「業界研究会」／対象：全学年対象（学生の個人情報取得及び採用に関する広報は不可）



※申込方法：キャリアセンターホームページから、開催希望の4週間前までにお申し込みください。

## ●各学部就職担当教員について

各学部に就職担当教員がおります。訪問をご希望される場合は、事前に電話またはメール等で各教員へ直接ご連絡いただきますようお願いいたします。

各学部の就職担当教員は、キャリアセンターホームページでご確認ください。

## ● 「弘前大学合同企業説明会」等 について

本学卒業・修了予定学生を対象とした「弘前大学合同企業説明会」等を開催しております。実施方法等の詳細については、キャリアセンターホームページでご確認してください。

—令和6年度開催予定—

### 1. 全学年対象（企業研究セミナー・業界研究会）（対面）

- ① 令和6年11月13日（水） 14:30～19:00 30社
- ② 令和6年11月14日（木） 14:30～19:00 30社
- ③ 令和6年11月20日（水） 14:30～19:00 30社
- ④ 令和6年11月21日（木） 14:30～19:00 30社
- ⑤ 令和6年11月27日（水） 14:30～19:00 30社
- ⑥ 令和6年11月28日（木） 14:30～19:00 30社

対面で実施するため、本学へお越しいただけることが前提となります。

### 2. 学部3年・修士1年対象（合同企業説明会）（オンライン）

- ⑦ 令和7年3月3日（月） 9:00～12:30 30社
- ⑧ 令和7年3月3日（月） 13:30～17:00 30社
- ⑨ 令和7年3月4日（火） 9:00～12:30 30社
- ⑩ 令和7年3月4日（火） 13:30～17:00 30社

オンラインで実施するため、貴社オフィスなどよりご参加いただけます。

参加費：いずれも 25,000円（予定）（対面・オンラインに関わらず）

参加方法：毎年6月～7月頃、ホームページにて申込方法等をお知らせします。お申込多数の場合はお断りする場合がありますのでご了承ください。



# 進路状況データ

## 1. 卒業・修了後の進路状況

### 【学部】

令和5年度 (R6.3卒業)

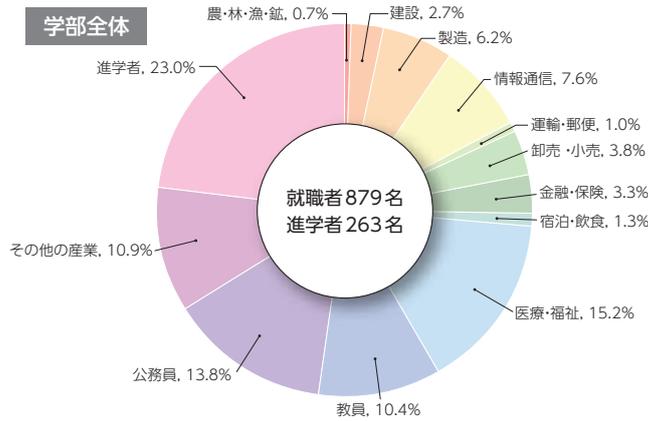
産業分類	人文社会科学学部	教育学部	医学部保健学科	医学部心理支援科学科	理工学部	農学生命科学部	計
	卒業者数	272	168	197	9	360	
就職者数	農・林・漁・鉱	1			2	5	8
	建設	7	2		14	8	31
	製造	10		1	44	16	71
	情報通信	39	6		32	10	87
	運輸・郵便	6			4	1	11
	卸売・小売	20	1		4	18	43
	金融・保険	26	1		5	6	38
	宿泊・飲食	8	1		2	4	15
	医療・福祉	4	4	164		2	174
	教員(学校教育)	7	102		7	3	119
公務	71	12		27	48	158	
その他の産業	46	12		1	37	28	124
計	244	142	165	1	178	149	879
進学者数	8	9	24	8	158	56	263
上記以外	20	17	8		24	12	81

### 【大学院】

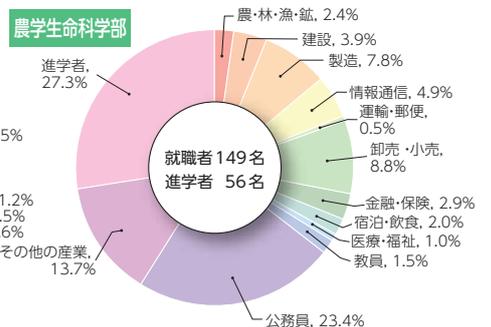
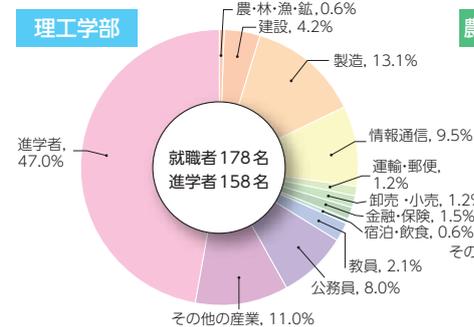
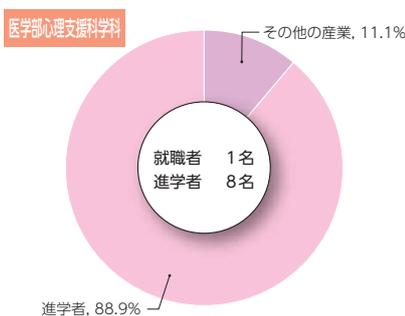
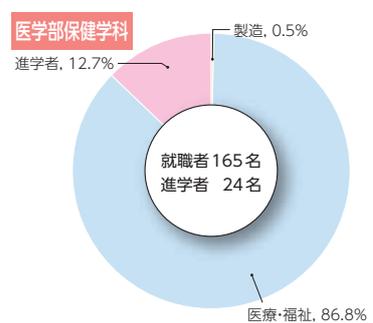
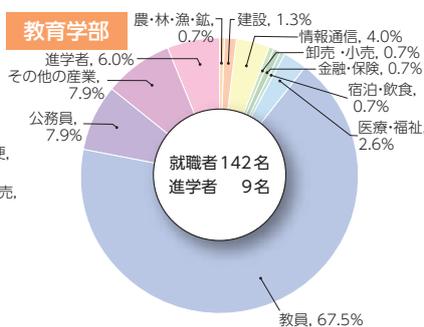
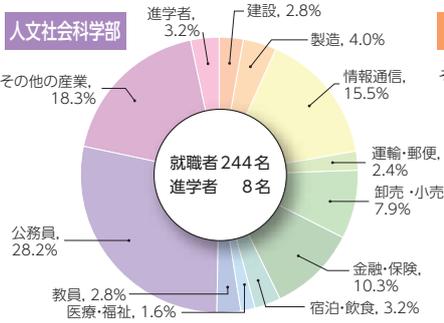
令和5年度 (R6.3修了)

産業分類	修士課程						博士課程				計	
	人文社会科学研究科	教育学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学研究科	地域共創科学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科	地域社会研究科		
修了者数	19	19	33	116	39	32	41	13	12	5	329	
就職者数	農・林・漁・鉱				1						1	
	建設				4				1		5	
	製造	2	3	65	10	6			1		87	
	情報通信	3		21	4	5			2		35	
	運輸・郵便	1		1	1	1					4	
	卸売・小売				1						1	
	金融・保険											
	宿泊・飲食						1				1	
	医療・福祉			15			1	41	8		1	66
	教員(学校教育)		18	3	1	1			4	2	2	31
公務	4			2	6	4					16	
その他の産業	3	3	15	10	8				2		41	
計	13	18	24	109	34	26	41	12	8	3	288	
進学者数	2	9	4	4	4	3					22	
上記以外	4	1		3	1	3		1	4	2	19	

※人文社会科学学部には人文学部を含む



令和5年度卒業者の就職率は、98.8%で歴代3位の就職率となりました。



※四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合があります。

## 2. 職種別就職状況

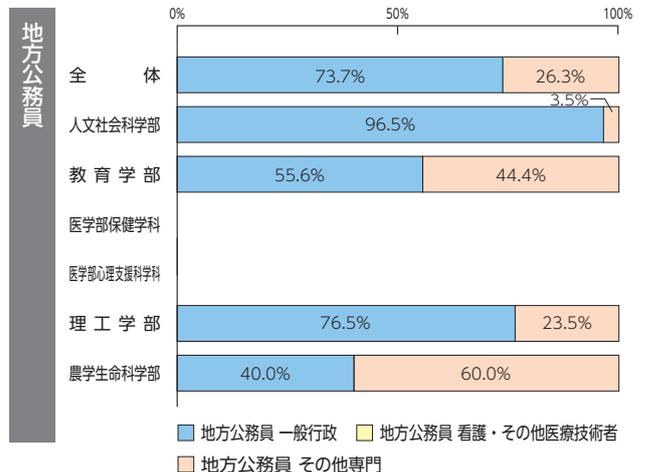
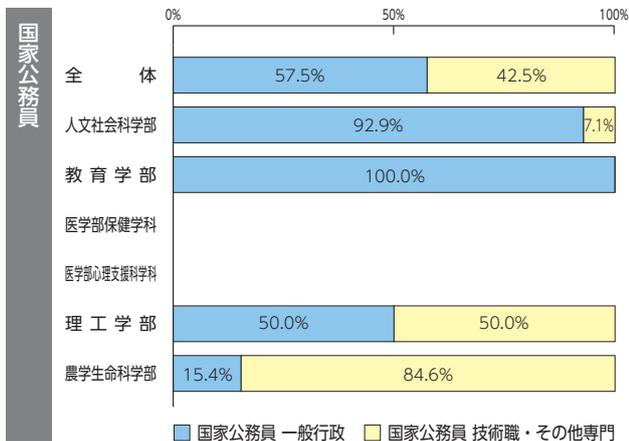
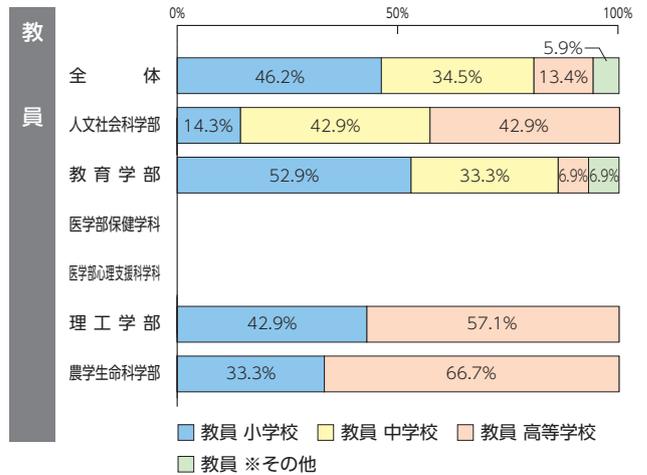
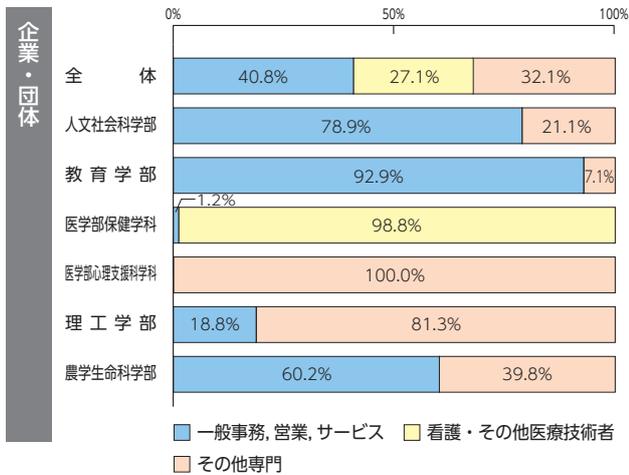
令和5年度 (R6.3卒業)

学部		人文社会科学学部	教育学部	医学部保健学科	医学部心理支援科学科	理工学部	農学生命科学部	計
		企業・団体 (602)	一般事務, 営業, サービス	131	26	2		
	看護・その他医療技術者			163				163
	その他専門	35	2		1	117	39	194
教員 (119)	小学校	1	54					55
	中学校	3	34			3	1	41
	高等学校	3	7			4	2	16
	※その他		7					7
国家公務員 (40)	一般行政	13	3			5	2	23
	技術職・その他専門	1				5	11	17
地方公務員 (118)	一般行政	55	5			13	14	87
	看護・その他医療技術者							
	その他専門	2	4			4	21	31
計		244	142	165	1	178	149	879

令和5年度 (R6.3修了)

大学院		修士課程					博士課程				計	
		人文社会科学学研究科	教育学研究科	保健学研究科	理工学研究科	農学生命科学研究科	地域共創科学研究科	医学研究科	保健学研究科	理工学研究科		地域社会研究科
企業・団体 (239)	一般事務, 営業, サービス	4		1	4	6	4				2	21
	看護・その他医療技術者			15				41	8			64
	その他専門	5		4	102	21	18			3	1	154
教員 (32)	小学校		6									6
	中学校		8									8
	高等学校		3		1	1						5
	※その他		1	4					4	3	2	14
国家公務員 (3)	一般行政	1										1
	技術職・その他専門					2						2
地方公務員 (13)	一般行政	1				2		2				5
	看護・その他医療技術者											
	その他専門	2				4	2					8
計		13	18	24	109	34	26	41	12	8	3	288

※中等教育学校, 高等専門学校, 大学, 特別支援学校及び幼稚園等の教員数



※四捨五入の関係で, 合計しても100%にならない場合があります。

### 3. 出身地別・地域別就職者数

#### ◆ 出身地別就職者数

令和5年度 (R6.3卒業)

学部	北海道	東北						関東					中部	その他	合計
		青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	東京	埼玉	千葉	神奈川	群馬			
人文社会科学部	90	99	24	3	10	4	4	2				2	4	2	244
教育学部	12	58	20	5	11	5	4	3	2	6		5	9	2	142
医学部保健学科	44	59	15	6	16	4	1		1	1	2	4	11	1	165
医学部心理支援学科						1									1
理工学部	74	65	11	5	4	2	3	1	2		2	1	7	1	178
農学生命科学部	36	60	3	4	7	3	1	3	1	1	3	10	10	7	149
合計	256	341	73	23	48	19	13	9	6	8	7	22	41	13	879
	29.1%	38.8%	8.3%	2.6%	5.5%	2.2%	1.5%	5.9%					4.7%	1.5%	

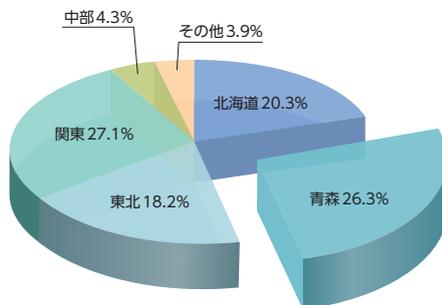
#### ◆ 地域別就職状況

【学部】 令和5年度 (R6.3卒業)

就職地域	出身地域内訳			
北海道 178人 (20.3%)	北海道	158	88.8%	
	青森県	11	6.2%	
	岩手県	4	2.2%	
	福島県	1	0.6%	
	関東	3	1.7%	
	中部	1	0.6%	
	その他			
東北 391人 (44.5%)	青森県 231人 (26.3%)	北海道	10	4.3%
		青森県	209	90.5%
		岩手県	3	1.3%
		宮城県	2	0.9%
		秋田県	3	1.3%
		山形県	1	0.4%
		関東	1	0.4%
	中部	2	0.9%	
	岩手県 38人 (4.3%)	北海道	1	2.6%
		青森県	5	13.2%
	宮城県 67人 (7.6%)	北海道	10	14.9%
		青森県	25	37.3%
	秋田県 29人 (3.3%)	岩手県	10	14.9%
		宮城県	14	20.9%
秋田県		3	4.5%	
山形県 18人 (2.0%)	関東	1	1.5%	
	中部	4	6.0%	
	北海道	1	3.4%	
	青森県	1	3.4%	
福島県 8人 (0.9%)	秋田県	25	86.2%	
	海外	2	6.9%	
	北海道	1	5.6%	
	岩手県	1	5.6%	
宮城県 67人 (7.6%)	山形県	12	66.7%	
	秋田県	1	5.6%	
	山形県	12	66.7%	
	関東	1	5.6%	
青森県 231人 (26.3%)	青森県	2	25.0%	
	岩手県	1	12.5%	
	福島県	4	50.0%	
	中部	1	12.5%	

就職地域	出身地域内訳			
東京都 156人 (17.7%)	北海道	47	30.1%	
	青森県	51	32.7%	
	岩手県	14	9.0%	
	宮城県	3	1.9%	
	秋田県	8	5.1%	
	山形県	2	1.3%	
	福島県	4	2.6%	
	関東	18	11.5%	
	中部	7	4.5%	
	近畿	1	0.6%	
埼玉県 10人 (1.1%)	海外	1	0.6%	
	北海道	1	10.0%	
	青森県	3	30.0%	
	山形県	1	10.0%	
	福島県	1	10.0%	
	関東	2	20.0%	
	中部	2	20.0%	
	千葉県 28人 (3.2%)	北海道	8	28.6%
		青森県	7	25.0%
		秋田県	2	7.1%
関東		11	39.3%	
中部		2	7.4%	
神奈川県 27人 (3.1%)	北海道	5	18.5%	
	青森県	9	33.3%	
	岩手県	3	11.1%	
	宮城県	1	3.7%	
	秋田県	1	3.7%	
	山形県	1	3.7%	
	関東	4	14.8%	
	中部	1	3.7%	
	近畿	2	7.4%	
	茨城県 5人 (0.6%)	北海道	1	20.0%
青森県		2	40.0%	
山形県		1	20.0%	
栃木県 9人 (1.0%)	山形県	1	20.0%	
	関東	1	20.0%	
	北海道	1	11.1%	
	青森県	2	22.2%	
群馬県 3人 (0.3%)	宮城県	1	11.1%	
	関東	5	55.6%	
千葉県 28人 (3.2%)	青森県	2	66.7%	
	関東	1	33.3%	

就職地域	出身地域内訳			
中部 38人 (4.3%)	愛知県 12人 (1.4%)	青森県	2	16.7%
		岩手県	2	16.7%
		秋田県	2	16.7%
		関東	1	8.3%
		中部	4	33.3%
	新潟県 11人 (1.3%)	九州	1	8.3%
		北海道	1	9.1%
		青森県	2	18.2%
		岩手県	1	9.1%
		山形県	1	9.1%
静岡県 11人 (1.3%)	中部	6	54.5%	
	北海道	1	9.1%	
	秋田県	1	9.1%	
	関東	1	9.1%	
長野県 4人 (0.5%)	中部	8	72.7%	
	福島県	1	25.0%	
近畿 23人 (2.6%)	大阪府 17人 (1.9%)	中部	3	75.0%
		北海道	6	35.3%
		青森県	3	17.6%
		岩手県	2	11.8%
		宮城県	1	5.9%
	兵庫県 2人 (0.2%)	秋田県	1	5.9%
		福島県	1	5.9%
	京都府 2人 (0.2%)	近畿	2	11.8%
		北海道	1	50.0%
		青森県	1	50.0%
和歌山県 2人 (0.2%)	北海道	1	50.0%	
	近畿	1	50.0%	
中国 5人 (0.6%)	和歌山県	2	100.0%	
	島根県 1人 (0.1%)	関東	2	100.0%
		中国	1	100.0%
	広島県 3人 (0.3%)	中国	1	100.0%
		北海道	2	66.7%
山口県 1人 (0.1%)	青森県	1	100.0%	
	青森県	1	100.0%	
九州 6人 (0.7%)	福岡県 1人 (0.1%)	九州	1	100.0%
	大分県 1人 (0.1%)	九州	1	100.0%
		九州	1	100.0%
	沖縄県 4人 (0.5%)	青森県	2	50.0%
秋田県	1	25.0%		
中部	1	25.0%		



※四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合があります。

# 卒業・修了 予定者数

## ◆学部 卒業予定者数

令和7年度 (R8.3卒業予定)

学 部	北 海 道	東 北						関 東						中 部	そ の 他	合 計
		青 森	岩 手	宮 城	秋 田	山 形	福 島	東 京	埼 玉	千 葉	神 奈 川	山 梨	群 馬 茨 城 栃 木			
人文社会科学部	71	120	19	12	26	3	4		1	2			6	8	6	278
教育学部	19	85	16	6	10	8	2	1	3	3			7	5	2	167
医学部保健学科	54	74	26	8	17	5		1		2		1	4	5	4	201
医学部心理支援科学科		6	1	1											3	11
理工学部	114	135	17	12	13	8	4	2	5	2	6		11	15	13	357
農学生命科学部	56	74	13	13	6	3	4	8	4	5	1	1	11	8	15	222
合 計	314	494	92	52	72	27	14	12	13	14	7	2	39	41	43	1,236
	25.4%	40.0%	7.4%	4.2%	5.8%	2.2%	1.1%	1.0%	1.1%	1.1%	0.6%	0.2%	3.2%	3.3%	3.5%	
		751						87								
		60.8%						7.0%								

## ◆大学院 修了予定者数 令和7年度 (R8.3修了予定)

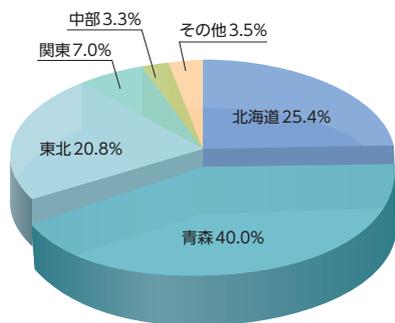
### 修士課程 / 博士前期課程

人文社会科学研究科	14
教育学研究科	20
保健学研究科	39
理工学研究科	128
農学生命科学研究科	49
地域共創科学研究科	27
計	277

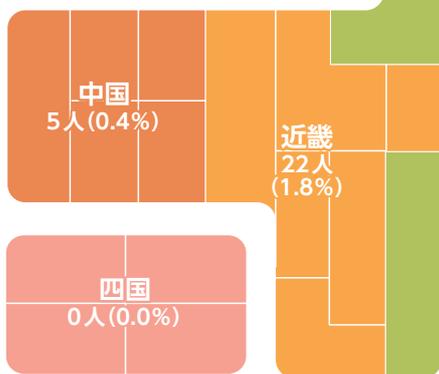
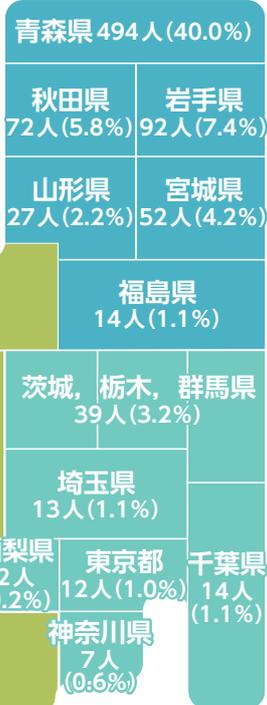
### 博士課程 / 博士後期課程

医学研究科	62
保健学研究科	13
理工学研究科	8
地域社会研究科	5
計	88
大学院合計	365

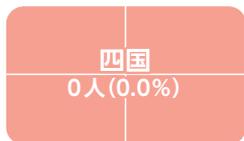
※四捨五入の関係で、合計しても100%にならない場合があります。



北海道  
314人  
(25.4%)



沖縄  
2人  
(0.2%)



海外他  
6人  
(0.5%)

青森県出身者が約4割、次いで北海道出身者が約2割です。北海道と東北で、約9割を占めます。



弘前大学教育推進機構

キャリアセンター

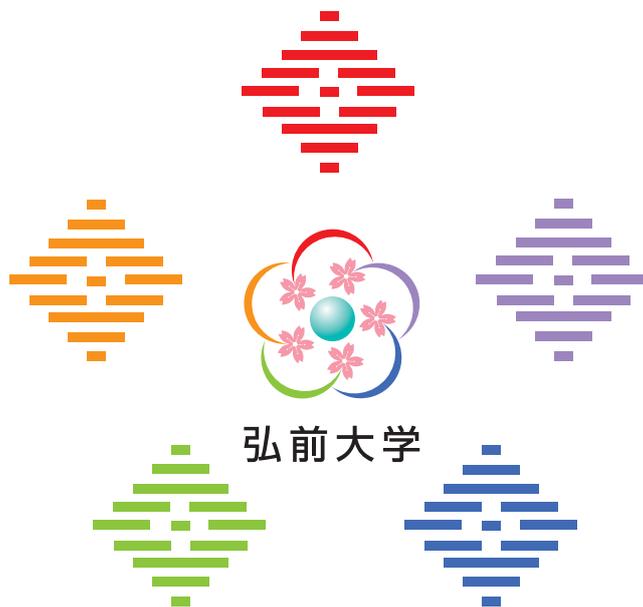
Institute for Promotion of Higher Education Career Center, Hirosaki University  
<https://career.hirosaki-u.ac.jp/>



キャリアタスUC  
 [career+]

<https://uc.career-tasu.jp/>





弘前大学

## お問い合わせ先

### 弘前大学教育推進機構キャリアセンター

〒036-8560 青森県弘前市文京町1  
TEL 0172-39-3129  
FAX 0172-39-3131  
E-mail [scc@hirosaki-u.ac.jp](mailto:scc@hirosaki-u.ac.jp)

### 弘前大学保健学研究科学務グループ

〒036-8564 青森県弘前市本町66-1  
TEL 0172-39-5471  
FAX 0172-39-5912  
E-mail [s-asari@hirosaki-u.ac.jp](mailto:s-asari@hirosaki-u.ac.jp)

※医学部保健学科，医学部心理支援科学科，保健学研究科の学生への求人  
に関しては，上記担当へ直接ご連絡いただきますようお願いいたします。